

# 私の未来の話をしましょう。

食品トレー・容器を再生して、活かし続ける。  
プラスチックの使用量を減らしていく。

食品トレーや容器など、多くのプラスチックを扱うエフピコにとって、「脱プラスチック」の世界的な流れは、決して見過ごせない課題です。

しかし、その形状や機能の多様性、耐久性、経済性など、さまざまなメリットがある数々のプラスチック製品によって、日々の生活が支えられているのも事実。エフピコは考えます。

「脱プラ」の潮流の要因は、環境汚染につながる私たち人間の使い方にある、と。使用済みのプラスチック製品を分別し、適切に再生して、何度も使用できる社会にしていくこと。永く活かし続けていくこと。

私たちは、30年以上にわたって取り組んでいるトレーからトレーへ、ペットボトルから透明容器へと、繰り返し資源を使う循環型リサイクルを未来へ向けてさらに拡げていきたいと思えます。またリサイクルの現状を知っていただくために、1990年から進めている全国のリサイクル工場の見学者数は累計50万人を突破。小学生、一般のお客さま、マスメディア、自治体のみなさまなど、さまざまな方にお越しいただいています。

そして、今まで難しかった、色・柄トレーの再生も新たな技術で実現。

さらには、日本初となる低発泡ポリスチレンの成形新技術による軽量化で、プラスチック使用量の大幅な削減も実現しました。広く社会のみなさまに私たちの取り組みをご理解いただき、さらなる持続可能ないい社会へ向けて、グループの力を結集して挑戦、前進し続けていきます。

**TRY  
the TRAY**

食品トレー・容器で未来を創る。

